



冬の到来

紅葉シーズンが終わり、本格的な冬の到来を感じる12月となりました。

12月7日は、二十四節気のひとつ「大雪」です。日ごとに寒さがつり、山地はもとより、平地でも氷が張り、雪が舞い落ちて冬の姿になる頃という意味です。暦を知ること、美しい四季の移り変わりをより豊かに感じることができますね。

次の節気は、12月22日の「冬至」です。1年で最も夜が長く、昼が短い日です。翌日から日が徐々に延びていくことから、「一陽来復」ともいわれ、この日を境に運が上向くとされています。

冬至には、かぼちゃを食べ、柚子湯に入る風習があります。柚子湯は「柚子＝融通が利く、冬至＝湯治」のゴロ合わせともいわれていますが、香りの強い柚子は、邪気を払うため、かぼちゃと合わせて無病息災を祈念してのことのようです。

また「ん」がつく食べ物を食べると幸運を呼び込めるともいわれています。かぼちゃは「なんきん」他にも「だいこん」「にんじん」「れんこん」「ぎんなん」「きんかん」「かんとん」「うどん」など「ん」のつくものを「運盛り」といって縁起をかついでいたのです。

冬至には、柚子湯で温まり「ん」のつく食べ物で滋養をつけ、元気に新しい年を迎えたいですね。



もしかして…あなたも使っていませんか？ 今回は「間違いやすい言葉」をご紹介します。

×「間が持たない」

○『間が持てない』

時間を持て余してどうしたらよいかわからない。会話などをうまくつなぐことができないという意味。

×「取りつく暇もない」

○『取りつく島もない』

つっけんどんで全く相手を気にかける態度がみられない様子。忙しくて暇がないという意味ではない。

×「体調を壊す」

○『体調を崩す』

体の調子を良好に維持できていない状況を表す。調子は、壊せない。「からだを壊す」ならOK。

Q. 正しい読み方はa、bどちらでしょう？

① 有り得る

- a. ありえる
b. ありうる

② 一世一代

- a. いっせいちだい
b. いっせいちだい

③ 代替案

- a. だいがえあん
b. だいたいあん

④ 凡例

- a. ぼんれい
b. はんれい

⑤ 他人事

- a. たにんごと
b. ひとごと

⑥ 一段落

- a. ひとだんらく
b. いちだんらく

⑦ 疾病

- a. しつびょう
b. しっぺい

⑧ 出生率

- a. しゅっせいりつ
b. しゅっしょうりつ

普段話している言葉でも、覚え違いをしているものは意外と多いようです。

こまめに調べることを習慣にして、語彙力を磨いてみてはいかがでしょうか。

